

公益社団法人日本地震学会平成24年度第4回理事会議事録

1. 日 時 平成24年5月25日(金) 12:30~13:30
2. 場 所 幕張メッセ国際会議場 102A室
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事12名、監事2名
 - ・理事：加藤照之、井出 哲、岡元太郎、香川敬生、加藤尚之、小泉尚嗣、関口渉次、武田哲也、西澤あずさ、堀川晴央、松原 誠、八木勇治
 - ・監事：川崎一朗、平原和朗
 - ・事務局：工藤智美

5. 審議事項

議長加藤照之は、本日の理事会の理事出席者が12名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

第1号議案 「意見集」冊子体刊行に関する件

昨年の秋季大会の「特別シンポジウム」における議論（講演者による論文ならびに一般公募した意見論文）を冊子体として刊行することについて、加藤会長より経緯説明が行われた。この資料集(案)の名称を検討した結果、モノグラフ（英名：Monograph of SSJ）とすることを決定した。次年度以降も「特別シンポジウム」等、地震学会主催の研究集会における議論を残すため、継続してこの資料集を刊行する予定。

第2号議案 平成24年度秋季大会における「特別シンポジウム」に関する件

平成24年度秋季大会における「特別シンポジウム」に採択された、「ブループリント」50周年記念シンポジウムについて、加藤会長より説明が行われた。このシンポジウムは、LOCの提案により10月16日夕方の開催を予定している。また、シンポジウムの担当理事を井出哲理事とすることを決定した。

第3号議案 臨時委員会からの“提言”等に対する対応について

次回理事会以降、臨時委員会からの提言等に対する具体的な対応を検討していきたい旨、加藤会長より説明が行われた。

第4号議案 各担当理事の確認

岡元常務理事より担当理事の決まっていない委員会、事業について説明があり、以下の通り担当を決定した。

国際（IASPEI）担当：モリ ジェームズ ジロウ 理事

普及行事担当：松原 誠 理事

連合担当：井出 哲 理事

財務総括担当：西澤 あずさ 理事

第5号議案 大会関係の Web システムの変更に関する件

現在の大会関係の投稿システムにより、年会費もクレジット決済出来るよう検討を行っていることが、八木大会・企画担当理事より報告された。業者から見積もりをとった結果、会費管理をつけた Web システムを通年運用すると、現在の倍の経費がかかることから、7カ月の期間限定で会費及び参加費を払った人のみ投稿出来るようなシステムの運用を考えていることが報告された。この場合メンテナンス費用が+6万5千円その他、別途開発費用として50万円がかかる予定。クレジット決済では、徴収金額の5%が手数料として差し引かれることから、さらに経費について詳細に調査することとした。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 来年度以降の科学研究費補助金（研究成果公開促進費）制度の大幅な変更に伴う地震学会欧文誌（EPS）の今後の刊行について、堀川欧文誌運営担当理事より説明が行われた。引き続き JpGU の科研費成果公開促進費対応臨時委員会に出席し、連合との調整を進めながら、欧文誌発行の方向性を探る。
2. ASC の日本代表を長年務めた平原前会長の後任に、横井俊明会員が ASC 役員会に於いて選任されたことが平原監事より報告された。